

アプリをダウンロードすることなく利用できる 『バスロケーションシステム』をリリース

株式会社ゼンリンデータコム(所在地:東京都港区港南、代表取締役社長:清水 辰彦)はPCIソリューションズ株式会社(所在地:東京都江東区、代表取締役社長:天野豊美)と共同で、利用者がアプリをダウンロードすることなく、バスの運行情報を的確に把握することができる、「バスロケーションシステム」を開発し、販売を開始しました。

交通渋滞など道路事情、天候などにより、ダイヤの乱れが発生しやすい路線バス。不測の事態や思わぬ事故などもバス事業者としては心配です。

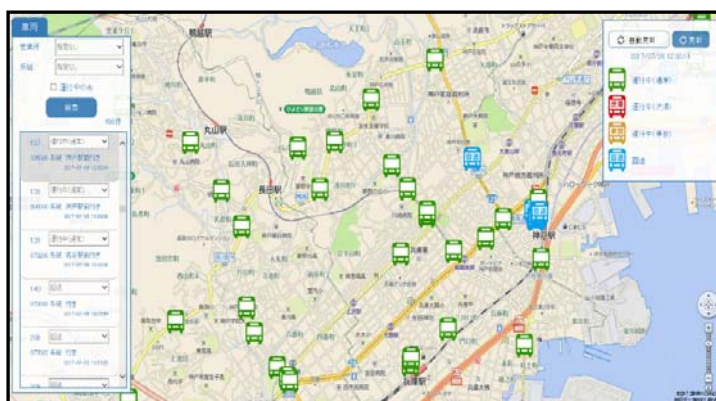
他の公共交通機関に比べ、不確定要素の大きいバスネットワークを、維持・管理するツールとして、近年注目を集めているのが、バスロケーションシステムです。

バス事業者の状況や目的によりバスロケーションシステムには、様々なものが存在しますが、ゼンリンデータコムとPCIソリューションズが共同で開発した「バスロケーションシステム」は、利用者の負担にならず、的確運行の情報を伝えることで、顧客満足を上げるためのツールです。

その特徴は下記になります。

- ・ より正確なバス位置情報の取得と提供
- ・ Web ベースのバスロケーションシステム
- ・ コンパクトな管理者機能
- ・ 多彩なバスサイネージオプションを提供

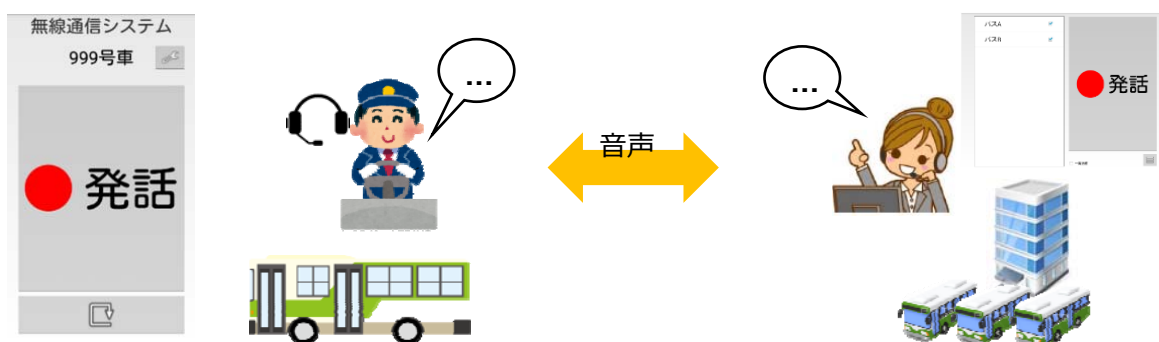
- 1.バス車両の運賃箱と専用車載端末(GPS、通信機能付き)を連動することにより、停留所の通過、未通過状況を確実に把握します。停留所通過情報を保持したあらゆる運賃箱などの運行機器との連動が可能です。(別途調査・開発費および接続関する諸費用が発生します)
さらに、専用車載端末のGPSを併用することで、より正確なバスの位置情報を提供します。
- 2.Web ベースのバスロケーションシステムでは、スマートフォンやパソコンで、ご利用になるバス停名や系統を指定することで、バスが現在どこにいるのか、そのバス停にあと何分でバスが来るのかをご確認いただけます。利用者はWebブラウザで運行状況を閲覧できるため、利用者向けアプリの開発は不要です。専用アプリで問題になる、アプリの普及対策も不要なので、導入したその日から、いつでもどこでも情報の確認ができます。
- 3.管理者機能では、運行管理者はパソコンやタブレットなどから、地図上で各系統の車両の走行位置、運行状況をリアルタイムに確認できます。



ユーザーサイト画面 参考(画面一例)



また、専用車載端末に搭載された Voice 機能で、営業所から車両ごとまたは、路線や管轄営業所単位などのグループ、全車両一斉同報、さらに各車両から営業所への連絡もワンタッチハンズフリー通話が可能です。Voice 通話は、IP パケット通信を使うため、通信にかかるランニングコストも極小化できます。



4. オプションのバスサイネージは、バスの車両内だけではなく、バス停や近隣の施設なども巻き込んだ地域活性化のための様々なご提案が可能です。コンテンツ更新のためのランニング費用や、コンテンツ管理についても、ご要求に合わせて最適なお提案をいたします。

当社では、安全・安心な情報社会を支えるために、信頼性の高い移動体通信技術、IoT 技術をベースに関連事業者との共同事業に積極的に取り組んでいます。

[本件に関するお客様お問い合わせ先]

株式会社 ゼンリンデータコム

ITS 本部 ITS 企画室 Tel : 03-6860-7890 E-mail: busloca@zenrin-datacom.net